

総合的な学習の時間学習指導案

安芸太田町立筒賀中学校 山本 康美 (T1)
相田健太郎 (T2)
坂本 一志 (T3)

- 1 日 時 平成23年11月28日(月) 2校時(9:50~10:40)
- 2 学年・学級 第2学年 7名(男子4名, 女子3名)
- 3 場 所 2年教室
- 4 指導形態 ティーム・ティーチング
- 5 単 元 名 筒賀の現在と未来を考えよう
- 6 年間指導計画における本単元の位置付け

未来の自分像を探そう
(44時間)

筒賀の現在と未来を考えよう
(26時間)

7 単元について

(1) 単元観

本校では、総合的な学習の時間のキーワードとして「地域」を掲げている。そのテーマのもと、2年生では「未来の自分像を探そう」、「筒賀の現在と未来を考えよう」の2つの単元を設定した。

本単元「筒賀の現在と未来を考えよう」では、地域で生活する人々の思いや願いを探究する活動を通して、地域の暮らしの現状と課題を学び、将来のより良い地域の姿を考える。そして、3年生の単元「地域へ貢献するプロジェクトを考えよう」で、地域の課題を解決する具体的な方法を探究し、地域社会に積極的に参画していこうとする態度を育むことをめざしている。

前単元の「未来の自分像を探そう」での、職場体験を位置づけた「地域で働く人々や働くこと」の学習の中で見聞したり感じたりしたことを、自分たちの地域の課題へつなげ、地域の現状を知り、その背景やより良い地域の在り方などを探究していく。

自分たちが生活している地域のことであり、自らの体験を通して見つけた課題であるため、主体的に探究活動に取り組むことが期待できる。また、インターネット、パンフレット、インタビュー、アンケート調査など、多様な情報収集活動や、それを整理・分析する活動など、課題を解決するプロセスを定着させるのに適した学習であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は7人と少人数ではあるが、明るく純朴で何事にも意欲的に取り組むことができる。

地域についての学習状況を見てみると、小学校時に「ひろしまの森林づくり事業(広島の森林づくりフォーラム主催)」に参加し、森林ジュニアインストラクターとして、都市部の小学生と保護者らを案内し、地域の森のすばらしさを自分たちの言葉で伝える活動をしている。このように、生徒たちは、地域のすばらしさを「豊かな自然」を通して学ぶ体験を数多くしてきている。

また、総合的な学習の時間では1年時の職業調べや前単元の「未来の自分像を探そう」の学習を通して自己の将来と地域の職業に関わる課題にも関心を深めている。

教科学力について見てみると、今年度の広島県「基礎・基本」定着状況調査の通過率は次のとおりであった。(単位: %)

国 語	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
	79.9	85.7	85.7	71.4	82.5	
数 学	教科全体	数と式	図形	関数	資料の活用	
	76.7	78.6	83.7	64.3	64.3	
英 語	教科全体	聞くこと	読むこと	書くこと	読むこと(実技)	読むこと(実技)
	81.4	69.8	79.4	85.7	100	100

これらの結果から、基礎的・基本的な内容は概ね定着しているものの、文章の読解や資料の活用など一部領域に課題がある。また、各教科の定期考査等の結果からも、資料から必要な情報を読み取り、目的に応じて適切に表現すること等、「活用する力」には課題があると考えられる。

また、6月に行った総合的な学習の時間に関する意識調査では、次のような結果が得られた。(単位：人)

質問内容	肯定	否定
•ものごとを解決する方法をいくつも考えています。	4	3
•集めた情報を相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ、表現しています。	5	2
•計画、調査、まとめなどの活動をする時に、自分にできることを考え、行動に移すことができます。	5	2
•自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることができます。	5	2

自分で解決する方法を考えたり、自分の考えをまとめ、表現したりするといった主体的な活動に苦手意識を持っている生徒がいることが分かる。また、「ものごとを解決する方法をいくつも考えています」の質問の肯定的回答が最も少なかった。教科等の学習の様子からも、一定の決まりにしたがって課題の解決方法を考えることはできるものの、多様な答えを導き出したり、複数のやり方を考えたりするなど、多角的な見方・考え方をすることについては課題があると考えられる。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、課題設定の段階で、職場体験学習の体験を振り返らせながら、地域の現状へと視野を広げさせ、課題を設定させたい。探究活動では、情報の収集方法にはインターネット、パンフレット、インタビュー、アンケート調査など、多様な方法があることに気付かせ、様々な選択肢の中から目的に応じて解決方法を選択させるなど、主体的に課題を解決していくプロセスを身に付けさせたい。

学習形態としては、個人、グループ、全体など、様々な形態での学習を通して、集団での学習の進め方を身に付けさせ、自ら行動すると同時に他者とも協力して課題解決していこうとする協同的な態度を育てたい。協同的な学習をすることを通して、他者の考えを知るとともに、多面的・多角的な考え方をすることの大切さに気づかせる。さらに、調べた事実や自分の考えを伝え合ったり、互いの活動を評価し合ったりする場を適切に設けるようにする。

また、単元を通して、情報を収集したり読み取ったりするスキル、表現するためのスキル等、各教科等で身に付けた知識や技能を活用させることにも留意したい。

8 単元の概要

(1) 単元の目標

地域に生きる人々の思いや願いを知り、地域の課題やより良い将来像等を探究する学習を通して、課題を解決するための多様なアプローチや探究のプロセスを協同的に身に付け、地域への理解を深め、それらを自己の生き方と結び付けて考えることができるようにする。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 地域の現状を見つめ、そこから課題を設定する。
- イ 集めた情報を整理し、そこから分かることをいろいろな視点から分析する。
- ウ 相手や目的に応じて、筋道をたて、分かりやすく表現する。

【自分自身に関すること】

- エ 課題の解決に向けて意欲的、計画的に行動する。
- オ 学んだことをもとに、自らの生き方を考える。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- カ 異なる意見や考えを聞き、それを尊重する。
- キ 地域の課題を知り、地域に自信や誇りをもつ。

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 地域のくらしの現状と課題およびその背景や原因
- イ 町づくりや地域の活性化のために現在行われている取組み
- ウ 地域の将来とその一員として自分の生き方

9 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
----	------	------	-------------

単元の評価規準	<p>①課題解決に向けて探究活動の計画を立て、収集した情報をいろいろな視点から分析している。 【(2)ーア・イ, (3)ーア・イ】</p> <p>②調査内容を相手に分かりやすくまとめ、自分のことばで説明している。 【(2)ーウ, (3)ーア】</p>	<p>①自分の体験に基づいて、主体的に課題を設定し、その解決に向けて、意欲的に行動しようとしている。 【(2)ーエ, (3)ーア・イ】</p> <p>②地域の現状と課題を理解した上で、地域の一員として自分がどう生きていくかを考えている。 【(2)ーオ, (3)ーウ】</p>	<p>①自分の考えを伝えたり、他者の異なる意見を受け止めたりしている。 【(2)ーカ, (3)ーイ】</p> <p>②学習を通して、地域の人との交流を深め、地域に対する愛着や誇りを持っている。 【(2)ーキ, (3)ーウ】</p>
---------	---	---	---

1 0 指導と評価の計画 (全26時間)

小単元名(時数)	主な学習活動	評価規準及び主な評価方法	
ふるさと筒賀の将来を見つめて課題を設定し、情報を収集しよう (12時間)	<p>課題の設定</p> <p>○課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活や職場体験学習、交流体験で聞いた地域の方の話などから、地域の暮らしの問題を探り、整理する。 ・ 問題(課題)解決のための仮説をたてる(探究テーマの設定)。 <p>○探究活動の計画をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決への筋道を見通しながら、文献、インターネット、インタビュー、アンケート調査など情報収集の方法を検討し、計画する。 <p>情報の収集</p> <p>○調査活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2グループに分かれ、課題解決に向けて、情報を収集する。 ・ 課題の原因を探る情報と地域活性化のために現在行われている取組みに関する情報を収集する。 	自① 学①	<p>観察による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察〈発言〉 <p>観察による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察
地域の課題の現状と原因を知り、解決方法を考えよう (14時間)	<p>整理・分析</p> <p>○収集した情報を整理・分析し、仮説の検証と現在行われている取組みの中で推薦したいものを選択する。</p> <p>○調査結果をまとめ、中間発表をする(プレゼンテーションソフトを使用)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間発表をする。【本時】 ・ グループごとにアドバイスし合う。 <p>○仮説を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の分析結果およびアドバイスを受けて、仮説を修正する。 ・ 新たな課題(仮説)にそって、再調査を行う。 <p>まとめ・表現</p> <p>○新たな情報を整理・分析し、修正した仮説を検証する。</p> <p>○中間発表の内容を見直し、最終発表をする(プレゼンテーションの修正)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに情報を整理・分析し、表現の工夫する。 ・ 最終発表をする(P T A・地域の方へ)。 <p>課題の設定</p> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動を振り返り、地域を活性化するための新たな課題を見つける。 	学① 学② 自② 他① 学② 自② 自② 他②	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート <p>観察・制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察〈発言〉 ・ プレゼンテーション <p>相互評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価シート <p>観察・制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察〈発言〉 ・ プレゼンテーション <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価シート

1 1 本時の展開

(1) 本時の目標

- グループで協力して、調査内容を相手に分かりやすく、自分のことばで説明し合う。

- 地域の暮らしと自分の生活のつながりを考える。

(2) 観点別評価規準

- グループで協力して、話す相手を意識しながら、分かりやすく自分のことばで説明している。
- 自分とのつながりを考えながら、他の発表を聞いている。

(3) 準備物

- ・ワークシート（相互評価・自己評価）、パソコン、プロジェクター

(4) 学習展開

	学習活動	◇指導上の留意点 (◆個別の指導の手立て)	評価規準 【評価方法】
導入	<p>1. これまでの学習の流れを確認し、本時のめあてを知る。</p> <p>○これまでの活動をふり返る</p> <p>○本時のめあてを知り、活動の見通しを持つ</p>	<p>◇これまでどのような活動を行ってきたか簡単に振り返り、今後の見通しをもたせる。</p> <p>・最終的には保護者や地域の方に発表を聞いてもらう。</p> <p>◇本時の活動の流れを確認させる。</p>	
	<p>○調査内容を全員に分かりやすく、自分のことばで発表し、質問や意見を伝え合おう。</p> <p>○地域の暮らしと自分の生活とのつながりを考えよう。</p>		
		◇評価の視点を明確にさせる。	
展開	<p>2. グループ発表をおこなう</p> <p>①グループごとに、地域で行われている取組みの中から一番有効であると考えられる取組みについて発表する</p> <p>②視聴者はワークシートに質問、アドバイス、評価等を書く</p> <p>・発表者は、ワークシートに自己評価をする。</p> <p>③意見を交流する</p>	<p>◆発表者の支援（T1）と視聴者の支援（T2・T3）</p> <p>◇視聴者には、発表を聞いて、①質問、②感想、③意見をそれぞれの色の付箋紙に書かせる。</p> <p>①質問や疑問点 ②感想・気づき・良かった点 ③自分の推薦する取り組み</p> <p>◆質問や意見が出にくい場合は考える視点を与える。</p> <p>・取り組みの内容の説明は分かったか。 ・有効であると考えた根拠や理由は明らかか。</p>	<p>・聞き手を意識して、分かりやすく、筋道の通った表現で説明している。</p> <p>【行動観察、プレゼン】</p> <p>・自分とのつながりを考えながら、仲間の発表を聞く。【行動観察、付箋紙、ワークシート】</p>
まとめ	<p>3. 学習を振り返る</p> <p>①学習の振り返りを書く</p> <p>②振り返りをグループ内で交流する</p>	<p>◇自分たちのグループの発表はどうだったかということと、他のグループの意見の中で今後のまとめにいかせることは何か書かせる。</p> <p>◇振り返りを交流し、新たな課題がでてきたらメモしておく。</p>	